

# 合わせればブロック・分ければタイル

- 平板瓦製造法を応用した軽量エクステリア製品の開発 (H19) -

愛媛県産業技術研究所 窯業技術センター 主任研究員 首藤 喬一

既存の設備を用いながら、多様な製品への展開を図るため、軽量化した平板瓦、壁材(ブロック・タイル)、床材(タイル)といったエクステリア製品の開発を実施しました。

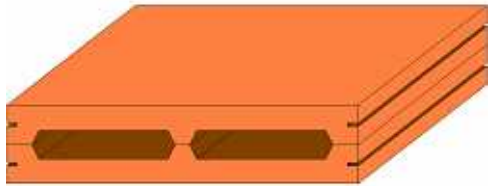
## 従来の平板瓦



- ・平板瓦の形状は、表裏が非対称なため、乾燥・焼成時に歪みやすい。
- ・ある程度の厚さと、5本の脚が必要となっている。

軽い平板瓦や、エクステリア製品を作りたい

## エクステリア製品



- ・ブロック形状にすることで、乾燥・焼成時に歪みにくくなった。
- ・脚の数と厚みを減らすことができた。
- ・高温焼成が可能になった。

合わせればブロック



分ければタイル



変形が起こりにくいため、高温焼成が可能となり、低吸水性・高強度の試作品を作製することができました。

軽量化を図りつつ、粘土瓦、陶磁器質タイル等のJIS規格を満たしています。